

病院実習

Practical On-site Training in Hospital Pharmacy

薬：F3-01503MY

総合科目 5年／前・後期 10単位 必修科目

科目責任者 病院実習部門長

■教育目的

病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑥】

■学習到達目標

1. 病院を理解する。(知識、態度)

病院における診療システム、病院内の他部署の業務内容と薬剤師業務との関連、また、薬業連携について理解し、説明できる。

2. 的確に情報を収集し、評価、加工、提供できる。(知識、態度、技能)

患者・医薬品・治療法に関する情報の収集方法の特徴、長所、短所を学び、必要な情報を的確な方法を使って収集し、評価、加工、提供できる。

3. 薬剤師の業務を理解し、適切に実践できる。(知識、態度、技能)

外来・入院調剤、注射薬調剤、院内製剤の調製、医薬品の供給・管理・保存、安全対策、服薬指導、病棟業務などの薬剤師業務を理解し、患者・医薬品・治療法に関する情報を活用して適切に実践できる。

4. 実習中に発見した課題を検討し解決の方策を提案できる。(知識、態度、技能)

実践を通して問題点を抽出し、解決するための情報を収集して、解決策を検討、提案・討論できる。(対象：薬剤師、医師、看護師、患者、医療チームの構成員など)

5. 医療人としての倫理規範、薬剤師の果たすべき役割を理解し、行動できる。(知識、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：汎用医薬品について知識を整理しておく。ルーブリックを読み込んでおく。(30分以上)

復習：実習した内容を想起し、実習中の疑問点等について調べ、確認しておくこと。(30分以上)

■授業形態

プレゼンテーション、実習・フィールドワーク

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
実習前	学内オリエンテーション	実習心構え	
1～11	各実習施設にて指導薬剤師指導のもと実習	モデル・コアカリキュラムに沿って実習	F(1)-②-4～7 F(1)-③-6～12 F(2)-①-3 F(2)-②-7～11 F(2)-③-10～19 F(2)-④-9～15 F(2)-⑤-9～13 F(2)-⑥-8～14 F(3)-①-5～7 F(3)-②-2～6 F(3)-③-7～12,14 F(3)-④-4～13 F(4)-①-4～9 F(5)-④-2,3
実習後	学内報告会	実習報告会	

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

実習中の基本取組態度(25%)、病院の指導薬剤師による所見・評価(25%)、実習記録の内容・担当教員との事前・事後面談(25%)、実習報告会での発表(25%)に対し、医療人をを目指すためのプロフェッショナリズムの観点から総合的に判定する。

■その他

*実習施設により、内容が多少変更になる場合があります。

*指導薬剤師による評価はルーブリックに基づいて行う。